



## 学校教育の充実のためのホームページ

R3. 4. 01 更新



第3期千葉県教育振興基本計画を踏まえ、各学校・園において重点的に取り組んでいただきたい事項をここにまとめました。

※学校や地域等の実態や課題等を踏まえ、取捨選択をして指導の一助としてください。

※すべての校種に対する取組が掲載されています。異校種との連携を充実させるために、異校種の取組も参考としてください。

( ) 内は該当する校種を示しています。( ) の記載がない項目はすべての校種が該当します。  
< ( ) 内の表記について >

幼稚園・認定こども園⇒幼 小学校⇒小 中学校⇒中 高等学校⇒高 特別支援学校⇒特

【第3期千葉県教育振興基本計画】

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/keikaku/plan3/index.html>

## 第3期千葉県教育振興基本計画を踏まえ、各学校・園において重点的に取り組んでいただきたい事項

### 施策 1

### 人生を主体的に切り拓くための学びの確立

千葉県教育委員会ホームページ  
『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』の活用促進

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/zissenmoderu/moderupuro.html>

千葉県教育委員会ホームページ  
「ちばっ子チャレンジ 100」(小学校)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/challenge.html>

千葉県教育委員会ホームページ  
「ちばのやる気学習ガイド」(中学校)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/yaruki.html>

#### (1) 子供の学習意欲を高め学力向上を図る取組の推進

・「自ら課題を持ち 多様な人々と協働し 粘り強くやりぬく子」の育成を目指し、児童生徒の実態に応じた授業実践を推進することで、学習意欲の向上を図る。

#### 県内小・中学校に対する学習ガイドの作成・活用

・「ちばっ子チャレンジ 100」(小学校)・「ちばのやる気学習ガイド」(中学校)の活用を通して、児童生徒に基礎・基本を習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図る。

(小・中)

#### 研修体系に基づく教職員研修の充実

・自らの目標や課題にあった研修の受講、中堅教諭等を中心とした校内研修を通して、教職員としての資質能力の向上を図る。

#### 先進的教育活動による学ぶ意欲の向上

・学校や地域の実態に応じて、先進的な教育活動にふれる機会を提供し生徒の科学や社会課題に対する興味・関心と知的探究心を高める。

(中・高)

#### よりよい学習活動を支える学校・学級づくりに向けた取組の充実

・学習サポーター(退職教員等の多様な地域人材)と連携した学習支援を通して、児童生徒の学力向上を図る。

(小・中)

千葉県教育委員会ホームページ  
千葉県学習サポーター派遣事  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/g-supporter.html>

千葉県教育委員会ホームページ  
「SSH」などの活用による理  
数教育の充実

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/ssh/index.html>



千葉県教育委員会ホームページ  
子どもの読書活動の推進

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/dokusho/>



#### 児童生徒の体験学習等の推進

- ・「総合的な学習（探究）の時間」の充実を図り、探究的な学習の過程を一層重視する。また、地域の教育資源を積極的に活用するとともに、自然体験やボランティア活動などの体験活動を重視する。  
(小・中・高・特)

#### 「主体的・対話的で深い学び」を実現する単元開発・授業改善に向けた取組の推進

- ・『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』及び授業実践資料等の活用を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。  
(小・中・高・特)

#### (2) 全ての子供が、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進

- ・千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）の施策の推進と子ども読書活動の普及を図る。社会全体における子どもの読書への関心を高める取組（発達段階別アプローチ）を推進するとともに、読書環境の整備と連携体制の構築を目指す。

#### 子どもの読書活動の理解の促進

- ・幼児児童生徒は、読書により、読解力や創造力、思考力、表現力等、多くのものを身に付けて成長するという読書活動の大切さを理解した上で、幼児児童生徒の読書への関心を高める取組と環境整備を実施する。

#### 家庭読書の推進

- ・読書啓発リーフレットや学校だより等を活用し、読書の意義や大切さを保護者と共有する。また、家庭読書の習慣化を図るために、読み聞かせや音読等、読書に親しめる取組を実施する。

#### 朝読書や音読、NIE、調べ学習等の推進

- ・読書活動全体計画等を作成し、学校図書館の活性化を図るとともに、朝読書や読み聞かせ、調べ学習等の読書活動を一層充実し、自ら進んで読書に親しむ意欲と態度を育成する。  
(小・中・高・特)
- ・新聞を活用した教育活動を通じて、情報活用能力の育成を図る。  
(小・中・高・特)

#### 司書教諭の適正配置の促進と研修の充実

- ・有資格者が全校に配置されるように働きかけ、各校での発令が行われるようにするとともに、研修会を実施することで学校図書館の活性化を図る。  
(小・中・高・特)

#### 読書活動や読書意欲を高める取組の充実

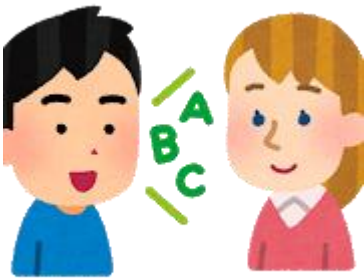
- ・家庭、地域、学校等の社会全体において、子どもの読書への関心を高める取組を実施し、本に親しむ習慣の定着を図る。子どもの発達段階に応じて、本とつながるきっかけを積極的につくることを推進し、「本を読みたい」「本で調べてみたい」と読書への関心が高まるように努める。

#### 図書館等との連携による学校図書館の活性化

- ・公立図書館と学校図書館が連携し、読書及び図書館活用を促すための研修を通して、学校図書館を活用した授業を推進する。  
(小・中・高・特)

千葉県教育委員会ホームページ  
「千葉県外国語教育推進  
計画」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gaikokugokyo/uiku/gokanenkeikaku.html>



文部科学省  
教育の情報化の推進

[https://www.mext.go.jp/a\\_m/enu/shotou/zyouhou/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_m/enu/shotou/zyouhou/index.htm)



### (3) 子供のコミュニケーション力を伸ばす外国語教育の充実

- ・児童生徒たちが世界への視野を広げ、外国語を使ってのコミュニケーションを楽しみ、自己の考えなどを主体的に発信する力を身に付けることを目的に、「千葉県外国語教育推進計画」のもと、小・中・高で一貫した外国語教育を推進する。

(小・中・高・特)

#### 小・中・高等学校を通じた実践的な外国語教育の充実

- ・校種を超えて児童生徒、教員間の交流、カリキュラムの連携等、小・中・高等学校の系統性のある指導方法及び評価方法について研究する。

(小・中・高・特)

#### 小・中・高等学校における先進的な取組の推進

- ・英語教育拠点校（高校 14 校）における研究協議会や「英語教育推進リーダー（小・中・高等学校）」による先進的な授業公開を通し、校種を超えて交流することで、指導力の向上を図る。

(小・中・高)

### (4) 学びの質を高め、情報活用能力を育むICT利活用の推進

- ・児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、各教科等において、ICTを活用して、必要な情報を収集・選択したり、互いの考えを共有したりするなど、学習活動の充実に努める。

(小・中・高・特)

#### ICTを活用した教育の推進

- ・個別学習や協働学習などでICTを活用することにより、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学習に取り組む態度を養う。

(小・中・高・特)

- ・ICTを用いた交流及び共同学習により、県内にとどまらず、他県や外国の同じ障害のある児童生徒と交流することにより、障害や病気があっても、視野を広げたり、外国語の学習に積極的に取り組んだりするよう努める。

(小・中・高・特)

- ・入院などの事情を抱える児童生徒が、ICTを活用して授業を効果的にうけることができる仕組みや教育課程の内容、指導と評価の方法等について、小・中学校及び高等学校等との連携を含めた児童生徒の学習の機会の保証に努める。

(特)

#### ICT活用など授業革新に向けた実践研究

- ・新学習指導要領で新たに「学習の基盤となる資質・能力」として位置づけられた情報活用能力の育成及び生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図るためのICT環境整備に向け、ICT機器の各教科の授業における活用の充実に努める。

(高・特)

- ・入院児童生徒への遠隔教育、肢体不自由児童生徒のコミュニケーションツールとしての教育用コンピュータの活用等、障害種に応じた効果的なICT機器の活用が進むように実践研究を進める。

(特)

## 小中学校におけるG I G Aスクール構想の実現へ！

～ちばっ子の未来と学びの保障を目指して～

### 学習支援ソフトの 活用イメージの一例



児童生徒の習熟度等に応じた反復学習

①



学校外における家庭学習での活用

②



授業で活用できる資料の提供

③

### G I G Aスクール構想とは？

- ・学校における高速大容量のネットワーク環境の整備と、児童生徒一人一人がそれぞれ情報端末を持ち、十分に活用できる環境を実現する。
- ・子供たち一人一人の能力や適性に応じて個別最適化された教育を実現する。

### G I G Aスクール構想の実現に向けて！

- ・現在、県内の市町村では、
  - 1 校内高速通信ネットワークの整備
  - 2 児童生徒一人一台端末の整備
  - 3 G I G Aスクールサポーターの配置
  - 4 学習支援ソフトの導入
  - 5 家庭でのオンライン学習環境の整備  
などを行っている。
- ・また、県では、
  - 6 教職員研修の充実
  - 7 オンデマンド教材の充実化  
などを行っている。

### 大きく変化する学習環境！

- ・G I G Aスクール構想が実現すると、子供たちの学習環境は大きく変化する。
  - 1 一人一台端末で学習支援ソフトを活用すると、習熟度に応じた反復学習が可能になったり、家庭学習に活用できたりする。
  - 2 一人一人がインターネット上の記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集し、それぞれが利用している端末を通して自分たちの考えを即時に共有した上で共同編集できるようになるなど、これからの時代に必要な資質・能力の向上が期待できる。
  - 3 授業内での活動の様子や内容の理解度などが端末に記録され、それらの情報から一人一人の学習状況が把握できることから児童生徒の実態に応じたきめ細かい指導や支援が可能になり、子供たちの能力を、その子に合わせて育成することにつながっていく。



## (5) 学びを将来へとつなぐ系統的なキャリア教育の推進

### 学校におけるキャリア教育の更なる推進

- ・キャリア教育の視点で教育活動をとらえ直し、様々な活動を行う。  
(幼)
- ・人や物事とかかわることの楽しさや喜びを味わわせる。  
(幼)
- ・特別活動を要としつつ、全ての教育活動を通じて、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成に努める。  
(小・中・高・特)
- ・キャリア・カウンセリングの機会を確保し、一人一人のキャリア発達を支援するとともに系統性のある指導を展開する。  
(小・中・高・特)
- ・将来の自立と社会参加に向けて、一人一人に応じた指導内容の充実を図る。  
(特)

### 校種を超えた連携による授業実践の促進

- ・小学校との交流の機会を設け、これからの学校生活に期待をもたせる。  
(幼)
- ・「キャリア・パスポート」を活用し、学校種間の円滑な連携・継続を図り、発達の段階に応じた体系的なキャリア教育を推進する。  
(小・中・高・特)
- ・キャリア教育の視点を入れて、個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成し、各部間の連携を図った実践を推進する。  
(特)

小学校から高等学校までの学びをつなぐ



### 学校と地域・社会、産業界等が連携・協働したキャリア教育支援体制の構築

- ・家族や身近な人、あこがれの人にかかわる機会を多くし、将来の夢や希望をもたせる。  
(幼)
- ・児童が様々な職業について理解し、将来に希望や目標をもつことができるよう、家庭や地域、企業等と連携して、計画的・組織的・継続的に支援する。  
(小)
- ・生徒が様々な職業や上級学校について理解し、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、家庭や地域、企業と連携して計画的・組織的・継続的に指導・支援を行う。  
(中)
- ・生徒が自己の将来を設計し、主体的に進路選択ができるよう、家庭や地域、産業界と連携するとともに系統的なキャリア教育を推進する。  
(高)
- ・幼児児童生徒が夢や希望をもち、様々な職業や上級学校について理解し、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、家庭や地域、企業と連携して計画的・組織的・継続的に指導・支援を行う。  
(特)

### 地域で必要とされる人材育成のための職業教育の推進

- ・地元企業等と連携した職場見学、職場体験、インターンシップ及び社会人講話や出前授業等、地元への愛着を深めるキャリア教育の推進を図り、地域を担う人材を育成する。  
(小・中・高・特)





接続期のカリキュラム  
千葉県モデルプラン  
(5歳児の学びのカリキュラム スタートカリキュラム

総合教育センター>トップページ>  
学校支援/授業支援>カリキュラムサポート室>ガイドブック等ダウンロード

[https://www.ice.or.jp/nc/s-hien/cs/guidebook?action=cabinet\\_action\\_main\\_download&block\\_id=570&room\\_id=18&cabinet\\_id=36&file\\_id=10741&upload\\_id=65029](https://www.ice.or.jp/nc/s-hien/cs/guidebook?action=cabinet_action_main_download&block_id=570&room_id=18&cabinet_id=36&file_id=10741&upload_id=65029)



### 職業系専門学科の理解促進

- ・生徒が希望に応じて、専門性の深化が図れるよう計画的に支援する。(高)

### 発達の段階に応じた職場見学・職場体験・インターンシップ等の推進

- ・職場見学(小)、職場体験(中)、ボランティア活動、学校種間の連携などにより、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。(小・中)
- ・地域や産業界等との連携によるインターンシップ等の取組を促進し、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。(高)

### 障害のある生徒の自立、社会参加を支援するネットワークの構築

- ・特別支援学校高等部と地域の企業や労働機関とのネットワークの構築を一層進めるとともに、情報共有や研修の期間の積極的活用により、障害のある生徒一人一人のニーズに応じた就労支援や地域生活の充実に向けた取組を推進する。(特)

## (6) 幼児教育の質の向上と初等教育への円滑な接続

- ・職員の経験年数や各施設の状態に応じた研修を行い、幼児教育の質の向上を図る。さらに、小学校の教師との意見交換や合同研究の機会等を設け、小学校教育への円滑な接続を図る。(幼)

### 接続期のカリキュラム千葉県モデルプランの活用

- ・園内研修等で「接続期のカリキュラム千葉県モデルプラン」を活用し、保幼小連携を一層進めるとともに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を見通した教育課程の編成を工夫する。(幼)

### 計画的な職員研修の実施

- ・教職員としての使命と責任を自覚し、キャリアステージに応じた幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観、高い専門性を身に付け、社会の変化に伴う新たな課題、地域や保護者のニーズ、幼児の実態に対応できるように、教職員一人一人が自ら進んで研修するとともに、教職員全体で組織的、計画的に研修できる体制を整える。(幼)

### 研究協議等を通じた幼児教育の充実

- ・幼稚園教育に関する内容や幼稚園の運営・管理等に関する専門的な研究協議等を行うことにより、幼児教育の充実を図る。(幼)

### 幼稚園における子育て相談・支援活動の推進

- ・園施設の開放や子育て相談の実施等により、地域における幼児教育センターとしての役割を果たす。(幼)

### 幼児教育から小学校教育への円滑な移行

- ・小学校の教師との意見交換や合同研究の機会等を設け、小学校教育への円滑な接続を図る。(幼)